

# 心理学基礎実験 I レポート作成チェックリスト

以下は、本授業のすべてのレポートに共通する最小限の注意事項です。下記以外にも指示が出されます。また、ごくまれに、担当教員が特別に下記と異なる指示を出すこともあります。その場合は、それらの指示にしたがってください。

---

## 1. レポート全体

- 1-1  冒頭に種目名(中央揃え)と学籍番号・氏名(右揃え)を記載している。
- 1-2  担当教員が指定した見出しで構成している(特に指定がない場合、問題・目的・方法・結果・考察・引用文献とする)。
- 1-3  アルファベットや数字は半角、英字フォント(Century, Times New Roman等)で表記している。
- 1-4  「である」調(常体)で記述している。
- 1-5  体言止めや箇条書きを用いていない。
- 1-6  誤字・脱字がない。
- 1-7  本文と本文の間には行を空けない。本文と図表の間には読みにくくならないよう適切な行間をとる。
- 1-8  著者自身の感想や感情は記述していない。

---

## 2. 方法

- 2-1  実験授業の報告ではなく、心理学の研究論文として、当日の実験を再現できる記述がなされている。  
※自分たちで実験者と参加者の役割を担うが、レポートでは自分が実験を行った立場で書く。

---

## 3. 結果

- 3-1  各分析において、収集したデータの何をどのように処理(集計・表作成・描画・統計分析等)したのかを説明している。
- 3-2  図表がある場合には、本文中の参照位置に"Table x", "Figure x"と表記している。
- 3-3  統計分析の結果を正しい数値・書式で記載している。なお、検定結果の $p$ 値は" $p = .xxx$ "とし、.001未満の時のみ" $p < .001$ "とする。
- 3-4  図表に示された結果の特徴について、それがわかるように説明している。
- 3-5  図表を適切な位置に配置している。

---

## 4. 図表

- 4-1  図表の上部に"Table x", "Figure x"と通し番号(x)をふった上で改行し、2行目にタイトルを書いている。2行とも左寄せにしている。
- 4-2  表は最小限の横罫線を用い、縦罫線を用いていない。
- 4-3  表中の数値は小数点の位置、小数点以下の桁数を揃えている。
- 4-4  図の縦軸・横軸に必要なとされるラベルおよび単位が正しく記載されている。
- 4-5  図の外側の枠線およびプロットエリアの参照線は削除している。
- 4-6  図に複数の条件の結果が描かれている等、必要な場合に凡例を示している。

---

## 5. 考察

- 5-1  初出の結果について言及していない(考察に必要な事実はすべて結果に書いてある)。
- 5-2  担当教員が指定した事項すべてについて考察を行っている。

---

## 6. 引用文献

- 6-1  本文中に引用した文献は全て『引用文献』に載せ、『引用文献』に載せた文献は全て本文中に示している。
  - 6-2  正しい形式で書誌情報が記載されている。
  - 6-3  リストの項目が著者のアルファベット順に正しく並べられている。
-